



知的障がい者施設

鹿児島しよぶ学園

幸福は 日々の中に。

「普通」という曖昧な海を
泳いでいるみんなへ。



監督・脚本・撮影：茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル <http://silentvoice.jp/whilewekissthesky/>
録音：ウエヤマトモコ、茂木綾子 編集：茂木綾子、フリッツ・パウマン 音楽：福森伸、フレッド・フリス(タイトル音楽) 演奏：otto&orabu、フレッド・フリス(タイトル音楽)
制作：silent voice, werner penzel film production プロデューサー：相澤久美、芹沢高志、ヴェルナー・ペンツェル 配給：silent voice 宣伝：佐々木瑠郁
助成：文化庁文化芸術振興費補助金、日本財団 2015/日本/カラー/73分/16:9/HD ©silent voice/werner penzel film production

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

文化庁文化芸術振興費補助金
文化庁 Agency of Cultural Affairs, Government of Japan

幸福は日々の中に。

僕たちは、彼らに社会の秩序というものを教える立場ではない。彼らから精神的な秩序を学ぶべきだ。 学園長 福森伸



時が止まったような不思議な居心地の良さ、もしかしたら未来の世界なのか、そんな目眩のような感覚に 襲われるのは何故だろう。しょうぶ学園では「ノーマル」と「スペシャル」の境界を超えて、私たちは「人」として日々なにを共有しているのか再確認することができる。

現代社会はさまざまな局面で、寛容さを失い始めているように思えてならない。この作品は、多様さとか寛容さとはなんなのか、説明抜きに伝えてくれるだろう。



今まで当たり前だと信じてきたことが、少し違った風景となり見えてくるかもしれない。

しょうぶ学園のアート、クラフト作品の展示は東京都美術館の「楽園としての芸術」展(2015年)をはじめ全国各地で開催され、nui projectのシャツは初日でほぼ完売が定番。音楽隊のotto&orabuも日本各地で公演し、音楽家の高木正勝やUA、おおたか静流らとの共演も多数。アート、クラフト、音楽ともに全国に熱烈なファンを持つ。作品に魅了されしょうぶ学園を訪れた人々は、園生が働くカフェでパスタを食べながら「人生が変わるような体験」と思わず口に出す…。不思議な風景に出会う73分。

90年代に伝説となったインディペンデント映画『ステップ・アクロス・ザ・ボーダー』を制作したドイツ人映像作家ヴェルナー・ペンツェルと、『島の色静かな声』(08)を制作した、写真家でもある茂木綾子による共同監督作品。

芸術という行為は、心の奥底で震えている命の鼓動の発散なのだと思う。

その鼓動を心から外に出すためには、心の摩擦がない

とても純粋な心の通り道が必要な気がする。

ミナ ペルホネン 皆川明



しょうぶ学園とは? (鹿児島市吉野町)
障がいを持つ人たちが地域社会でよりよく暮らしていくために、友好的で安全で、のびのび過ごせる環境を提供している。ものづくりを通じ、人が本質的に備えている創造する力を引き出し、協働を通してよろこびをわかちあえるコミュニティーづくりを実践している。人と人がささえあい、つながりあい、つくりだす暮らし、創造的な福祉事業の可能性に貢献し続けている。敷地内には、入所、通所のための施設に加え、カフェ、ベーカリー、蕎麦屋、工房、ギャラリー、ショップなどが点在する。園生と職員による音楽隊otto&orabuは日本各地で公演している。

木曾 明日への一步 映画祭 Vol.4 「幸せは日々のなかに。」

日時：2019年1月18日(金) 開場：9時 上映：9時30分～11時30分

場所：上松町ひのきの里総合文化センターホール 入場無料【長野県地域元気づくり支援金事業】

■主催 NPO 法人上松町こども未来会議「学童保育おひさまクラブ」 ☎0264-52-3395